

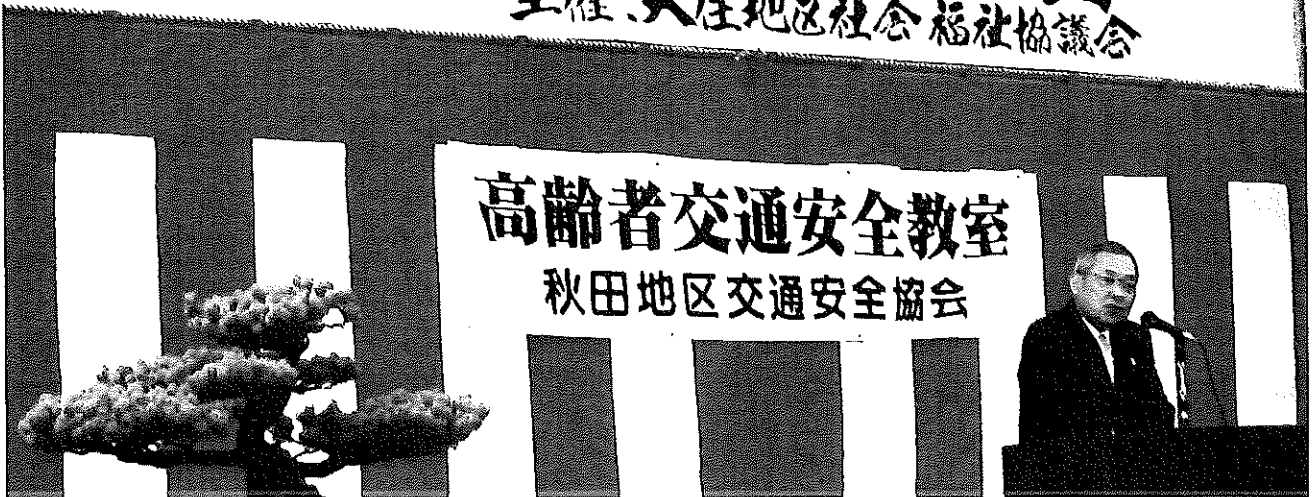
第21号

# 大住社福協だより

平成20年3月1日発行 秋田市大住地区社会福祉協議会

## 祝 敬老 会

主催、大住地区社会福祉協議会



福祉を支える地域の力



大住地区社会福祉協議会  
会長 梅 邑 供 治

穏やかな冬を過ごしてありますが、大住地区の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

この「大住社福協だより」が届くころには、春の足音を身近に感じられる頃ではないかと思っております。

新年を迎えて思うことは、政治の混乱により先の見えにくい状況であること、また、改革の名のもとに行われる予算の削減など、福祉予算についても例外ではありません。この状況を克服するためには、地域の皆様の力強いご支援とご協力が不可欠でありますので、よろしくお願いいたします。

さて、平成十九年度大住地区社会福祉協議会の事業も当初の計画どおりに実施されておりますことをご報告申し上げます。敬老会には秋田市副市長飯塚様はじめ多くのご来賓の方々をお迎えして開催することができました。秋田南高等学校や大住小学校との「福祉懇談会」では、若者達の真摯なご意見をうかがい、次代を担う若者達が福祉に対する情熱を持っていることを実感できた有意義な懇談会でありました。新たな事業として、高齢者の皆様に「緊急安心箱」を民生委員の方々からのご協力を得て配付することいたしました。非常時を見据えた常日頃からの備えが大切でありますので、その備えをしていただきたいと考えております。

また、平成二十年度の事業については、見直しをしなければならぬ状況にあります。高齢者に支給されておりました補助金の削減、さらには年末の「歳末たすけあい」運動も個人情報保護法により、個人を特定することが困難で、対象者の的確な把握が出来ない現状であります。これらの事業の見直しについては、平成二十年度の評議会に提出し検討したいと考えておりますので、皆様のご理解をお願いいたします。

ところで、秋田市の高齢化率は二二・一％で全国平均の二〇・一％を上回っております。さらに昨年度は一年間で一％アップしました。秋田県の高齢化率も二八％に達し、平成二十二年度には全国第一位の高齢県になる見通しが人口問題研究所より発表されております。高齢化社会のこれからの福祉は、健常者と弱者がお互いを支えあう共生社会でなければなりません。常々申し上げておりますが「それとなく」「自然体で」の見守りが福祉を支える地域の大きな力となります。

社会には必ず弱者がいることは事実であります。行政や法律の網にかかりにくい所に互助の補完ができれば社会福祉協議会の存在意義があるものと考えております。今後大住地区の皆様には、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

**第二十三回敬老会、盛大に挙行**

社福協事務局長

田口 忠稔

今年度の大住地区敬老会は平成十九年九月十七日（敬老の日）、大住地区コミュニティセンターにおいて開催されました。

昨年度から敬老会の対象年齢が満年齢で七十五歳以上となり、今年度は地区全体で七九三名の方が対象となり、その内百五十名の方が出席されました。秋田市役所の代表として副市長の飯塚明様、国会議員、県市会議員、多数の町内会長、地域の団体の長の皆様が来賓としてご出席し、お祝いしてくださいました。

敬老会は、式典と祝賀会に分かれ、式典のはじめに大住地区社会福祉協議会会長の梅邑供治がお祝いの言葉を述べ、続いて来賓代表秋田市副市長の飯塚明様のご祝辞、祝電披露ののち、出席者を代表して牛島西四丁目町内会の原田昌一様から謝辞を頂戴しました。

次いで祝宴に移り、大住学区振興会会長の高橋重道様のご発声による乾杯に続いて、秋田太陽幼稚園の園児の皆さん、大住小学校の児童の皆さんのお遊戯が演じられ、お年寄りの皆様は童心に返って会場一杯笑顔と笑い声に満ち溢れておりました。その後、斉藤英子さんの「手踊り」を楽しみ、来賓の皆様との交流、お酒やビールが入って時間の過ぎるのを忘れて、午後四時の「しめ」まで大勢のお年寄りが帰らずに楽しんでくださいました。

敬老会対象人数は、これまで毎年前年度に比べて約一割増しで推移しており、今後も増えていくものと考えられます。

国も地方も地域も高齢者が増えていくことを前提に、社会福祉を考えていかなければならないと思います。私達一人ひとりも身近な地域福祉・地域活動に多少なりとも参画しみんなで地域を盛り上げていく必要があります。

当日会場の設営にご尽力いただいた大住学区体育協会の皆様、送り迎えにご協力いただいた

た町内会の皆様、お年寄りのお世話をしていただいた民生児童委員の皆様、厨房で、杯、コップ、お酒等の準備をいただいた日赤奉仕団の皆様、コミセン周りの交通整理に当たられた交通安全協会の皆様等地域内の大勢の団体、人々のご協力で今年度の敬老会を盛大に挙行し、終了することが出来ました。皆様大変ありがとうございました。



年度別敬老会対象者人数の推移

区分 年度	対象者数 (人)			率 (%)	
	男	女	計	男	女
昭和61	90	109	199	45.2	54.8
平成 1	84	116	200	42.0	58.0
4	109	148	257	42.4	57.6
7	133	213	346	38.6	61.4
8	147	231	378	38.9	61.1
9	154	244	398	38.7	61.3
10	174	269	443	39.3	60.7
11	184	306	490	37.6	62.4
12	201	334	535	37.6	62.4
13	217	351	568	38.2	61.8
14	237	378	615	38.5	61.5
15	265	399	664	39.9	60.1
16	294	416	710	41.4	58.6
17	311	433	744	41.8	58.2
18	298	444	742	40.2	59.8
19	314	479	793	39.6	60.4

平成19年度 敬老会対象者数

区分	対象者数 (人)			率 (%)	
	男	女	計	男	女
敬老会対象者数	314	479	793	39.6	60.4
年齢階層別	75歳~	167	218	43.4	56.6
	79歳				
	80歳以上	147	261	408	36.0

### ふれあい集会

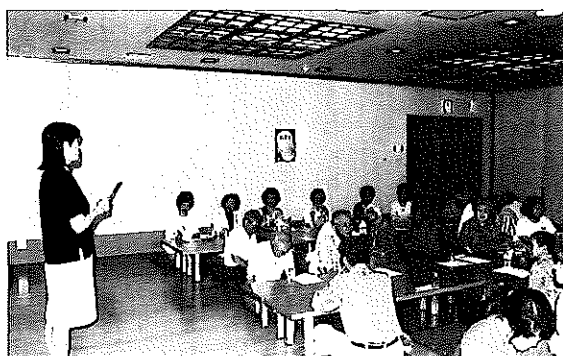
常任理事

小松 友子

今年度の大住地区「ふれあい集会」は二回開催されました。一回目は、七月二十四日(火)、参加者四十名。市社協のバスを借り、土崎港にある「あつたまり」へ。この日は、市社協の職員の方にも参加を頂き、高齢者の健康管理について講話をお願いしました。内容は「辛い」は口から！口を動かす事、清潔にする事の大切さ。「健康」は足元から！外出をする事、体を



動かす事の大切さ。また、大声で笑う事で、元気は体の中から出てくる事！日々、自分で出来る事のアドバイスは、大変参考になったようでした。講話後の昼食会は、気のせいか、いつも以上に皆の会話や歌が盛り上がったようでした。二回目は、十一月二十七日(火)、参加者三十八名。角館「花葉館」へ。冬を思わせる風が吹く中、時々日がさして、枯れ葉が紅葉のように光っていました。以前にも、利用した事があつたせいか、皆さんゆつくりとした一時を過ごしていたようでした。



集会の最後はいつも、「次回もまた元気で会いしましょう！」の大住社協会長の言葉で、帰路につきます。

「ふれあい集会」は、地区の民生委員の方々からも協力を頂き、参加者への案内や取りまとめをもとに、大住社協が開催しています。

日々、元気に生きがいを持って暮らして行ける様、今後さまざまな計画を考えているところです。

### ぬくもりのある地域づくり

大住地域振興会

副会長 伊藤 専司

少子化、過疎化、格差社会、いま、わたしたちをとりまく問題は暗い、さきが見えないことばかりです。しかも、これらの現象がもつとも著しいのが、わが秋田とか。昭和四十年代ころより、新興住宅街として拓かれたここ大住地区も、この数年の間めつきり空家が目立つようになり

なりました。少子化や過疎化は、なにも農漁村だけにかぎったことではないのです。まさに、わたしたちのまわりにもせまった問題として、日々実感させられるこのごろです。時の流れとはいえ、この厳しい状況下で、わたしたちは温かい、心のかよい合う地域づくりを心がけたいものです。

すでに大住地区では、いろいろな団体が組織され、種々多岐にわたって活動し、多大な成果を上げているのはご存じのとおりです。

今後はさらに、児童生徒への声かけ運動、隣人同士のあいさつ、お年寄りへの気くばりなど、常に心がけ、安全、安心、ぬくもりのある地域まち作りを心がけたいものです。

### 絆づくり

大住小学校教頭

船山 悟

第十一次秋田市総合計画では、「人の絆づくり」を最重要課題の一つとして掲げています。絆づくりとは、「信頼関係づくり」です。

学校では、様々な取組みを通して、子どもと子ども、子どもと教師の信頼関係の構築はもちろん、家庭や地域との連携を通して大きな成果を上げてきております。

特に地域からは、安全パトロール隊員をはじめ、スポーツ祭での体育協会、大住フェスティバルでの振興会と商工振興会、敬老会や赤い羽根募金での社会福祉協議会等、様々な活動を通して多くの方々からの協力が得られ、地域と学校とが太い絆で結ばれているのを感じます。地域の皆様に感謝するとともに、子どもの健やかな成長に向けて、今後も地域との絆を大切にしていきたいと思っております。

社会福祉活動交流懇談会

理事

草薨 忠三

日頃の福祉・ボランティア活動についての情報交換をする「社会福祉活動交流懇談会」が、十二月十一日に秋田南高等学校、十七日に大住小学校で開催されました。

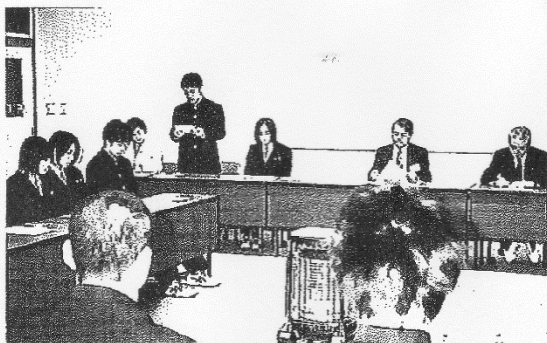
秋田南高等学校では、「助け合いの心・人間愛・共に生きる」事を大切にした福祉活動を行っており、平成十五年からは二年生を対象に介護体験やボランティア活動を実施しているとの事です。同校社会福祉委員会



の皆さんは、緑の羽根や赤い羽根の募金活動、保育所・幼稚園の訪問、公園の清掃など活発な活動をしています。

大住小学校ボランティア委員会の皆さんは、各種募金活動の他に、校内放送やポスターなどで全校生徒に協力を呼びかけ、プルタブ・牛乳パックの収集をして、各施設に送り、リサイクル等へ活用されていることを伺いました。

各校の児童・生徒の皆さんが、地域の人みんなが住みやすい町にするために、助け合いの心、人を思いやる心を持って協力している姿が感じられました。



た。

社会福祉協議会からも、誰しもが幸せに暮らせる町づくりのために、地域の住民や他団体と力を合わせて取り組んでいる活動内容を紹介しました。

今後もこの交流会が、福祉についての関心を高め、自分たちが出来る地域での助け合い、人を思いやる心を持ち続けていくかけ橋の役割を担いながら、活動できることを願っています。

福祉関係者の受賞の紹介  
高橋一征さん  
秋田県知事表彰を受賞

大住地区民生委員協議会会長の高橋一征さんは、永年にわたる民生委員としての功労等が認められ、平成十九年十月二十四日秋田県社会福祉大会（於大仙市大曲市民会館）において、平成十九年度社会福祉功労者として、秋田県知事の表彰を受けられました。  
高橋さんは大住地区社会福祉協議会の副会長も努めており、社協の指導ならびに民生委員協議会と社協の連携にも尽力しておられます。

思いやりの心を大切に

赤十字奉仕団大住分団

分団長 高橋 知子

私達団員は赤十字の理念である「人道」の下で、博愛の精神をモットーに赤十字病院の奉仕、献血運動、施設訪問、地区敬老会の奉仕などの活動をしております。

平成六年に牛島分団に所属していた大住在住の有志で大住に分団を新設し、団員の高齢化もあり新団員を募集して現在は二十名の団員で構成されております。

新団員が初めて奉仕活動をした時の感想は、異口同音に「言葉では表せない感動をした」と言ってくれます。これは、何かを成し遂げた時の達成感と、自分さがしを見出した時のよろこびだと私は嬉しく思っております。

これからも、「一握りの奉仕の灯」を絶やすことなく、次世代に継承できますよう頑張っております。

大住地区老人クラブ

H20.2.1現在

老人クラブ名	会長名	住所	電話	町内会
老人クラブ松葉会	原田 昌一			西四丁目
稗田南老人クラブ	竹内 龍謙			稗田南
大住南熟年の会	廣田 敏雄			大住南
庚塚南老人クラブ	小玉 久夫			庚塚南
大住熟年の会	記田 正治			大住
大住北寿老人クラブ	真田 光雄			大住北
仁井田露見クラブ	西山 忠司			仁井田露見



## 平成19年度大住地区町内会長名簿

## 大住地区民生児童委員協議会名簿

H19.12.1現在

番	町内会名	会長名	住 所	電 話	世帯数	班数	氏 名	住 所	電話番号	担当町内会
1	牛島庚塚東	進藤 清			15	1	◎高橋 一征			東潟敷、
2	庚 塚	石垣 勝子			32	4				東潟敷南
3	西 若 葉	戸津 義行			95	8	○門脇 利成			第二みなみ野
4	い な 穂	高橋 征一			30	4				仁井田西潟敷、
5	牛島西二丁目町	岡部 賢悦			50	3	小松 友子			大住全域
6	庚 塚 南	高橋 功			82	4				(主任児童委員)
7	牛島西第一	川井 ミエ			215	5	長尾 景忠			大住団地
8	稗 田 南	梅邑 供治			207	18	藤原 洋助			大住、路見幸町
9	庚塚西新町	佐藤 清治			74	5	佐藤 要			大住新町、
10	牛島西町	佐川 一男			17	1				仁井田合同宿舍
11	おたかの橋	中川 廣			215	16	森 加寿美			牛島庚塚東、いな穂、
12	三皇竹原	佐藤 忠			178	13				庚塚、西若葉、
13	牛島西四丁目	高橋 重道			292	20				牛島西二丁目町、
14	清水市営住宅	中村 勝利			90	6				庚塚南
15	牛島東潟敷	平野 貢則			244	16	佐藤 正三			おたかの橋、
16	牛島東潟敷南	武藤 武二			116	11				三皇竹原
17	大 住 南	佐藤 勉			190	11	池田 一機			牛島西四丁目、
18	大 住 北	古谷 隆保			153	15				清水市営住宅
19	大住団地	畠山千恵子			206	20	榎 勝子			稗田南町、
20	大住中央通	高橋 和夫			210	16				庚塚西新町
21	大 住	小浜 一雄			166	9	佐藤 秀朗			路見町、潟中町、
22	路見幸町	浅野 守			53	3				潟中新町
23	大住新町	笠井 信夫			155	16	今野 愷二			大住北、
24	仁井田住宅合同宿舍				140	15				仁井田西潟敷北
25	仁井田潟中新町	佐藤 秀明			93	6	嶋田 秀子			みなみ野
26	仁井田潟中町	進藤 征喜			118	8	佐藤 憲子			大住中央、
27	仁井田路見町	戸崎 元美			170	13				仁井田緑町
28	仁井田緑町	工藤 仁			38	3	藤原 勉			牛島西四丁目
29	仁井田西潟敷	玉井 勝			113	8	長谷部三夫			牛島西第一・牛島
30	みなみ野	金子 義隆			272	19	阿部 悌二			大住南
31	西潟敷北	米川 康博			22	4	小田原里子			大住全域
32	第2みなみ野	門脇 利成			162	10				(主任児童委員)

各町内会長様には、当社会福祉協議会の評議員をお願いしております。

◎印 会長、○印 副会長



大住地区各種募金等納入一覧表

平成19年度会務(行事)報告

(平成19年度)

平成20年1月29日現在  
大住地区社会福祉協議会

大住地区社会福祉協議会

区分 町内会名	日赤社員 社費 (円)	市社協 全戸会費 (円)	敬老会 協賛金 (円)	赤い羽根 共同募金 (円)	歳末助け 合い募金 (円)	新潟中越沖 地震災害募金 (円)
庚塚東		3,240	900	4,800	4,790	4,500
庚塚		3,000	3,000		3,000	
西若葉						
いな穂	2,000	10,800	3,000	3,000	1,500	3,000
牛島西四丁目	4,000	16,200	6,000	20,000	5,000	
庚塚南	28,700	31,680	8,800	47,400	9,000	10,000
牛島西第一	5,000		5,000	5,000	2,000	5,000
稗田南	43,100	65,000	20,000	50,000	10,000	82,000
庚塚西新町	12,500	24,480	6,800	25,600	3,200	
牛島西町						
おたかの橋	4,000	32,400	16,000	47,300	10,000	
三皇竹原		7,200	5,000	10,000	5,000	5,000
牛島西四丁目	84,800	102,240	28,900	132,880	15,000	15,000
清水市営住宅						
東潟敷		36,000	24,000	72,000	12,000	12,000
東潟敷南	3,000	42,120	10,000	20,000	20,000	5,000
大住南	20,000	45,000	18,000	44,000	6,000	22,550
大住北	5,000	26,000	14,000	45,000	5,000	5,000
大住団地				10,100	10,100	
大住中央通	8,500	25,200	16,500	30,000	20,000	
大住	29,000	41,760	16,600	75,250	10,000	10,000
藤見幸町	29,000	19,080	5,300	26,500	2,650	36,000
大住新町						
仁井田住宅 合同宿舎						
仁井田中折町		10,000	10,000	30,000	5,000	5,000
仁井田中町	3,500	25,200	11,000	37,847	5,000	2,000
仁井田藤見町	19,000	36,000	12,000	78,000	6,500	4,008
仁井田緑町			3,000		3,500	
仁井田西潟敷	5,500	8,640	10,000	15,000		5,650
みなみ野	3,000	19,000	27,600	55,400	13,850	10,000
西潟敷北町			2,400	5,700	900	3,000
第二みなみ野	1,500	36,000	10,000	15,000	12,500	20,000
小計	311,100	666,240	293,800	905,777	201,490	264,708
学校関係				72,558		
個人・贈・録等				76,008		
小計	0	0	0	148,566	0	0
合計	311,100	666,240	293,800	1,054,343	201,490	264,708

※ 日赤は行政組織でなく、民間の機関です。運営費用は社員の納める社費、寄付金と国等から援助金で運営されております。災害時の給付、恵まれない人達への援助、海外の援助を必要としている人達への援助等のため、社員の増加が望まれております。ぜひ、日赤社員に多数応募してください。よろしくお願いします。

※ 秋田市社会福祉協議会で実施している介護事業や各地区社協の実施する地域福祉事業の原資を確保するため、秋田市社協の会員(全戸会員と略称)の増加が望まれております。出費多端な折柄恐縮ですが、多くのご家庭の応募をお願いします。

実施月日	事項	摘要
4月12日	会計監査(平成18年度分)	会長他、監事2名、 大住コミセン
4月16日	日赤秋田市地区協議会	会長、 平安閣
4月24日	秋田市身体障害者 牛島、大住分区総会	南都公民館
4月28日	大住社協定例評議員会	会長他、大住コミセン
5月6日	会計事務引継	新旧会計等4人 大住コミセン
5月9日	地区共同募金会会長会議	会長 老人福祉センター
5月15日	大住学区振興会総会	会長、大住コミセン
5月26日	常任理事会	大住コミセン
5月26日	役員会	常任理事、理事、監事、 大住コミセン
5月29日	秋田市社協幹事会	会長 老人福祉センター
6月7日	秋田市地区社会福祉協議会 連絡会 総会	会長 平安閣
6月8日	秋田市地区社会福祉協議会 研修会	会長 横手市さわらび会館
7月24日	一人暮らし高齢者との ふれあい集会	会長他、 秋田市土俵「あつたまりな」
7月30日	敬老会のための合同役員会	会長他、大住コミセン
9月7日	共同募金会地区会長及び 事務担当者会議	会長、事務局長、 老人福祉センター
9月7日	敬老会実行委員会	会長他、レストハウス井堀
9月17日	大住地区敬老会	会長他、大住コミセン
10月1日	大住コミセンまつり	会長、高橋副会長、 大住コミセン
10月21日	仁井田地区社協 50周年記念祝賀会	会長、パークホテル
10月22日	秋田市社会福祉協議会理事会	老人福祉センター
10月31日	秋田市社会福祉大会	会長他、秋田市文化会館
11月27日	一人暮らし高齢者との ふれあい集会	会長他、 仙北市角館「花葉館」
11月28日	日赤秋田市地区分区長会議	会長、平安閣
12月11日	秋田南高校との福祉懇談会	会長等5名、 南高校長等約10名
12月17日	大住小学校との福祉懇談会	会長等6名、 大住小学校約35名
12月25日	役員会	常任理事、理事、監事、 大住コミセン
12月25日	歳末助けあい募金の配分 委員会	民生児童委員、社協役員
1月17日	「社福協だより」 第1回編集会議	常任理事、 大住コミセン
2月6日	「社福協だより」 第2回編集会議	常任理事、 大住コミセン
2月14日	事務担当者研修	会計、副事務局長 秋田市文化会館
2月14日	地域福祉活動合同研修会	役員全員、 秋田市文化会館
2月15日	日赤秋田市地区分区長研修会	平安閣
2月17日	大住学区振興会、 新春懇話会	会長等12名、 大住コミセン
2月22日	秋田市社協Bブロック研修会	会長他1名 協働大町ビル

平成19年度「赤い羽根共同募金」応募名簿 (1,000円以上)

平成19年12月25日現在 順不同、敬称略

単位：円

I. 学校、企業、商店等		II. 個人		
金額	応募者名	金額	町内会名 応募者名	
45,137円	秋田南高校	3,000円	稗田南 和田繁	
16,512円	大住小学校	1,000円	庚塚東 中原芳彦、小林清史、佐藤信行、進藤清	
14,799円	太陽幼稚園		庚塚南 佐藤みつ江	
10,853円	老人クラブ松葉会		牛島西四丁目 仙北清一、幸野義夫、幸野典子、川田正雄 池田斉、佐藤清太郎、船木愛、鳥海久一 佐々木誠司、佐藤一夫、戸嶋廣志、斉藤直人 渡辺梯二、米田己代治、石川重喜、菅悦郎 船木福治、梶原好浩、穂積英典、黒川親嗣 佐々木昭子、高橋重道、佐々木忠一、高島昭二 井濃内勝、石井千孝、菅原五郎、進藤重男 石田丈治、松山俊治、牧野博行、安島高正、 伊藤桂二、藤田幸、夏井周吉、沢田石正直、 佐藤幸雄、湊一浩	
10,000円	(株)ナイス 仕出しの坂本			
5,975円	大住南熟年の会			
5,000円	マイム秋田菅原店			
	内山内科胃腸科医院			
	大住歯科医院			
3,000円	秋田銀行大住支店職員一同			大住南 廣田敏雄
	菅原家電商会			大住 石郷岡一男、伊藤富雄、伊藤雄一、加藤昭男 熊谷忠行、小松一誠、斎藤典四郎、佐々木清 佐々木正浩、佐藤要、杉山弘美、高橋農行 藤原富男、松井芳雄
	すず屋衣料店			
	美容室JD			
	富士クリーニング			
みちおか文具店	潟中町 川村敏夫、高橋栄治、三浦清一			
2,000円	奥寿司	みなみ野 佐藤司		
1,000円	ウィズヘア			
	フラワー美容店			
	理容サニー			
	理容センス			
152,276円	合計			

広げよう、地域に根ざした、  
思いやり

大住地区民生児童委員協議会

会長 高橋 一征

民生児童委員は改選期を迎え、平成十九年十二月一日付けで新任六名を含めて大住地区の民生委員は十八名が任命されました。(名簿参照)

今後三カ年間、地域の皆様と共に次の五項目について頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくご協力お願いいたします。

一、安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献します。

地域住民がその地域でいつまでも住み続けたいという願いを大切に、行政や社会福祉協議会、町内会、福祉サービス事業者などと協力して取り組みます。

二、地域社会での孤立・孤独をなくす運動を提案し行動します。

一人暮らし高齢者の孤独死は地域社会に大きなショック

を与えます。孤立・孤独をなくすため地域住民と手をつなぐ取り組みを進めていきます。

三、児童虐待や犯罪被害などから子どもを守る取り組みを進めます。

児童への虐待や犯罪による被害を防ぐため、行政と緊密に連絡を取り合い、子どもの安全を守る取り組みを進めていきます。

四、多くの福祉課題を抱える生活困窮家庭に粘り強く接し、地域社会のつなぎ役を務めます。

複雑で困難な生活課題を抱え精神的にも経済的にも不安な状態を抱える人を発見し、支援につなげていきます。

五、日頃の活動を活かし、災害時に要援護者の安否確認を行います。

日ごろの見守り活動を通じて把握している要援護者の情報を、自然災害発生時の安否確認に役立てる活動の強化を図っていきます。

平成19年度大住地区社会福祉協議会名簿

(H19年4月28日選任)

職名	氏名	住所	電話番号
会長	梅邑 供治		
副会長	高橋 一征		
"	伊藤 富雄		
常任理事	高橋 重道		
"	平野 貢則		
"	田村 一夫		
"	藤井 綾子		
"	小松 友子		
"	小田原里子		
"・事務局長	田口 忠稔		
"・会計	中村 一六		
監事	矢嶋 友喜		
"	熊谷 忠行		
理事	佐々木信夫		
"	中川 廣		
"	高橋 晨行		
"	武藤 武二		
"	高橋 功		
"	進藤 征喜		
理事・事務局長	草薨 忠三		
理事	皆川 勝美		
"	真坂 芳明		
"	藤原 洋助		
"	佐藤 要		
"	古谷 勝江		
"	森 加寿美		
"	池田 一機		

大住児童館について

児童館幹事長

鈴木 捷子

大住児童館は、昭和五十七年に開設され、今年で二十六年目となります。学校の敷地内に建っており、また地域のご熱心な方々のご支援もあり、市内でも有数の利用率の高い児童館となっております。最近学校周辺でもいろいろな問題が多発しております。そのため児童館でも問題防

止のための対策を講じております。

しかし何よりも地域の方々の児童館

を見守りご協力いただくことが大事

であると思っております。そのため

にも地域の方々が児童館の諸行事に

ご参加いただき、地域の学校にある

地域の児童館としてなおいつそうの

充実を図ってまいりたいと存じてお

ります。日頃児童館運営には、各種

団体や各町内会からもご支援いた

だき、関係者一同心から感謝申し上げ

ております。

編集後記

年金問題、地球温暖化、社会・地域・その他の格差拡大、各種の偽装事件、家族間の殺生事件等この一年も課題の噴出、顕在化に揺れてきました。

多くは地球規模だったり、国の制度だったりで、私たちにはどうにも仕様のない事柄ですが、ひとつだけ身近に対処できることがあると思います。それは家族間のきずなを深め、近隣の皆さんとのつながりを強くして地域社会を暮らしやすい、温かなものにしていくことです。

そこに社協活動の原点があるように思い、一層工夫、努力しなければいけ

ないとの思いを深くする昨今です。

昨年申し述べましたが、一層少子高齢化社会が益々進展していくことでしょうか。この先の福祉対策を今からしつかり見据え、早めに対策を講じる必要があります。国、地方行政が負担しきれない部分を地域の相互扶助すなわち地域の福祉活動で補完していかなければならないと思えます。

日赤社資の募集から始まって、歳末たすけあい運動まで、町内会長さんを紹介して多くの皆様、町内会から多大のご協力を頂戴して、一年の活動を進めてきました。

心からお礼申し上げます。大変ありがとうございました。

(事務局長 田口 忠稔)